



スタディグループ@阪大基礎工

# 企業が抱えている 問題・課題の解決に協力します

— 関連する複数の専門家と共に一定期間集中して議論し、課題解決を目指します —

## スタディグループについて

企業が提案する課題について、コーディネーターが関連する研究者を集め、当該分野の複数の専門家と共に、一定期間集中的に議論する課題解決型の研究集会。

当該する複数の  
異分野の研究者



企業人

## スタディグループのメリット・魅力

- ▶ 問題解決に向けて多面的な検討が行える
- ▶ 異分野の研究者が集まることにより、融合研究が芽生える
- ▶ 新たな視点や発想が発見できる
- ▶ 特化された専門分野の先生方からの興味深い提案が体験できる

スタディグループに関する  
お問い合わせ

大阪大学大学院基礎工学研究科 附属産学連携センター

〒560-8531 大阪府豊中市待兼山町1-3  
大阪大学豊中キャンパス 基礎工学研究科 本館 D324室

TEL/FAX 06-6850-6124  
E-mail sangaku-jimu@sangaku.es.osaka-u.ac.jp



## 実施事例の紹介 ～ 2017 年度開催事例～

2017 年度は、某 HD 企業様にご参加いただき、2 回に分けて実施しました。  
事前に企業様にヒアリングを行い、課題や議論すべきトピックス等自由にあげていただき、それらに対応可能な基礎工内の先生方をメンバリングし、議論する場を設けました。

### 第 1 日目：スタディグループ day1

時 期	2017年12月初旬
場 所	基礎工内
参加者	企業様2名、基礎工内の先生方計12名
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介（大学側からは簡単な研究分野も紹介）</li> <li>・企業様から、ご紹介および課題等の提示</li> <li>・質疑およびディスカッション</li> </ul>

第 1 回目は双方の紹介の後、企業様から課題等のご提示・ご説明をいただき、通信・画像処理・自動運転・ロボティクス・ビッグデータ分析等、多岐分野にわたる内容があげられました。若手教員から質問や提案事項、参考事例等の積極的な提示もあり、参加メンバー全員がそれぞれの内容について共有する形で議論がなされました。

### 第 2 日目：スタディグループ day2

時 期	2018年1月中旬
場 所	基礎工内
参加者	企業様2名、基礎工内の先生方計12名
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎工の先生方からの発表、フィードバック、質疑応答</li> <li>・全体ディスカッション</li> </ul>

第 2 回目は、基礎工の若手教員 4 名が中心となり、研究紹介および第 1 回目の内容に絡めたフィードバックを行いました（分野内容：数理データ解析手法・通信伝送・画像処理・ロボティクス等）。それぞれの発表後の質疑応答を通して、産業界の実課題とのすりあわせの議論をおこないました。

## 参加者の声

### 参加企業様からの声



関心に合致したメンバリングで、複数の教員の話を一度に聞くことができ良かった。

課題の解決につながる知見を得られた。

専門分野で特化された先生方の提案は興味深いものが多く非常に参考になった。

業界を知らないが故の視点や発想も聞くことができたのが良かった。

### 基礎工の先生方からの声



産業界の実問題や課題を生の声で聞くことができ、非常に勉強になった。

スタディグループでの議論が、今後の研究の方向性や展開先を考える上でとても参考になった。

産学連携に対する意識を新たにしたとともに、産学連携のあり方を改めて考える良い機会になった。

産学連携の進め方の過程で、今回のスタディグループのような場が必要だと感じた。

